

「 あめとどしゃさいがいのこと 」

福岡県 八女市立黒木小学校 1年 ^{なかむら}中村 ^{たける}健琉

ぼくのいえはやまのせまいみちをとおります。なつになってからとおりみつのよこにあるやまのきをたくさんこうじのひとたちがきてきっていました。きがたくさんきられていてやまがはげっぱになってしまっていました。

ぼくはちょっとかなしくなっておとうさんになぜきをきるのかなとききました。おとうさんはおおあめやたいふうのときにおおきなきがたおれてしまったらみちをふさいだり、どしゃくずれになるからそうならないようにおしごとのひとたちががんばっておていれしてくれているんだよとおしえてくれました。きったきはおうちのざいりょうになったりぼくたちのつくえやいすになったりするそうです。それをきいてぼくはうれしくなりました。きったあとはまたちいさなあかちゃんのきをおしごとのひとたちがうえてそだててくれるそうです。ぼくがまだあかちゃんのところおおあめがふって、いえのうらのやまがくずれてきがたくさんたおれてかわがながれなくなりぼくのいえのたたみやゆかのしたにみずがきて、おとうさんがたたみはずしてかわかしたそうです。ぼくはまだあるけないあかちゃんだったのでおかあさんがいえのなかをおんぶしてあるいてくれたそうです。おかあさんがとってもこわかったよといいました。そのときみたいにならないようにおていれしてもらっているとおしえてもらいました。

ぼくはおしごとのひとたちにありがとうございます。といいました。おにいさんたちはどういたしましてとわらってくれました。

どしゃさいがいやたいふうやおおあめはほんとうにこわいです。ぼくもおとうともこわいです。さいがいがおこらないようになればいいなとおもいました。ぼくはひなんくんれんをわすれません。せんせいやおとうさんおかあさんのおはなしをしっかりときいてじゅんぴができるようになりたいとおもいました。